

ベビーサインとは



一般社団法人日本ベビーサイン協会

1 まだうまく話せない赤ちゃんとお話する育児法



ベビーサインとは言葉をうまく話せるようになる前の赤ちゃんの手話やジェスチャーを使ってコミュニケーションをとる育児法です。赤ちゃんは話し始めるよりずっと前からいろんなことを考え、周囲の人とお話したいと思っています。ところが、言葉を話すために必要な発声器官の発達には長い時間がかかるので話したくても話せないのです。そこでより簡単な手の動きを使って「お話し」する方法を教える、赤ちゃんは喜んで使い始めます。それがベビーサインなのです。

1. 親子の絆がとて深まる

ベビーサインをしている赤ちゃんのとてもいとおしく、気持ちがわかった、笑えたというエピソードがとて多くなります。育児のイライラがたくさんの笑顔に変わる素敵な育児法です。

2. 育児がより楽しくなる

腹がすいたら【ミルク】、ボールで遊びたいなら【ボール】と赤ちゃんが泣かずに欲求や気持ちを伝えてくれるので、赤ちゃんにとてママにとて、フラストレーションが減り、育児をより楽しむことができます。

3. 話し言葉の習得に好影響がある

ベビーサインという簡単な言語を使った赤ちゃんは、モノの名前やその使い方を早く理解します。米国の研究ではベビーサインをしていた子はそうでない子よりも語彙が豊富になると報告されています。

4. 赤ちゃんの健康と安全管理に役立つ

【痛い】のサインを教えると、周りの大人が気づいてあげられない痛みを赤ちゃんから教えてくれるようになります。また【熱い】【危ない】などのサインは危険防止に役立ちます。